



ポケモンともコラボ 満10年のOKICA “沖縄経済圏”の実現へ ハイペースで拡大中

全ての写真を見る 8枚

2023年5月13日 6:00

目標を20万枚上回る 莫大な費用 子どもの貧困対策に 目指せ“沖縄経済圏” 立ちはだかるコンビニ決済 OKICAのこれから

2014年に沖縄の交通系ICカード「OKICA（オキカ）」が誕生してから今年で10年。使えるのは県内の公共交通機関や一部の小売店に限られ、Suica（スイカ）やPASMO（パスモ）といったメジャーなカード（サイバネ系）と一線を画す独自路線を貫いてきた。「県外でも使えるようにしてほしい」「Suicaを使うことができないのか」など、これまでさまざまな要望がSNSには寄せられてきた。一方で、OKICA導入当初の「2023年までに35万6千枚発行」という目標を大きく上回り、同年3月時点で53万枚を超えた。なぜこれだけ利用が広がっているのか？ 沖縄ICカードの仲吉良次社長に聞いた。

目標を20万枚上回る

2014年1月28日、応募総数357件の中から名前が「OKICA」に決まった。当時、読谷村の小学5年生の中島優子さんが名付けた。同年10月20日には沖縄都市モノレール「ゆいレール」で利用をスタート。2015年4月27日には路線バス4社にも導入され、入域観光客数の増加もあってOKICAの発行枚数は増えていった。



OKICA累計発行枚数の推移

コロナ禍で人々の移動が制限され、2020年から販売枚数の伸びは鈍くなったものの、2021年8月には人気アニメ「ポケットモンスター」のキャラクターをあしらったOKICAを発売。沖縄限定のため、2023年現在も国内外から来た観光客がこぞって購入している。



「ポケットモンスター」のキャラクターをあしらったOKICA（沖縄ICカード提供）

観光消費を盛り上げるためのポケモン社のCSR（企業が社会的責任を果たすための取り組み）の一環で、版権は無料で提供されたという。

仲吉社長（りょうじ）社長はこう話す。「発行枚数は10年前の予想を上回っています。それだけニーズが高かったんじゃないでしょうか。特にバスだと、運賃表を見ながら小銭を払ったり、両替したりの手間が必要でしたけど、OKICAならワンタッチですから便利でしょう。ポケモンさんも本当に有り難い取り組みです」

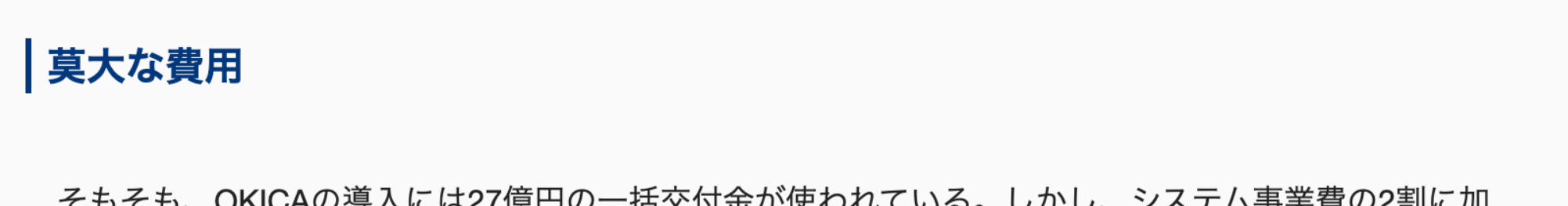
しかしながら、導入当初、SuicaやPASMOはゆいレールで使えず、OKICAも県外で使えない「片道」利用に疑問の声が上がっていた。

莫大な費用

そもそも、OKICAの導入には27億円の一括交付金が使われている。しかし、システム事業費の2割に加え、年間約5000万円かかる維持費はモノレール社とバス会社が負担する。沖縄のバス会社は私企業で、コストの受け入れには抵抗があった。

その上、サイバネ系を導入すると、事業費は2倍、維持費は4倍に膨れあがる。

仲吉社長は当時、サイバネ系を使う中小の事業者からこんな本音を聞いた。「陸続きだからやむを得ず入っているが、コストの面を考えると、できれば入らない方がいい。沖縄は、独自でやっていった方がいい」と。



JR東日本のICカードでゆいレールに乗車できるようになった＝2020年3月10日、那覇空港駅

Suica導入に後向きだったOKICA側だが、2017年5月に突然、国土交通省が沖縄でもSuicaの導入を検討するとの報道があった。そして2020年3月には、Suicaをはじめ相互利用しているPASMOやICOCAなど10種類がゆいレールで使えるようになった。一体、何があったのか。

「オリンピックですよ。国土交通省の観光庁には、世界から来る人たちに日本全国を1枚のカードで旅してもらいたい、という理想がありました。こちらとしては、ない袖は振れませんが交渉しましたが、波に押されました。紆余曲折あって、今やってますけど（笑）」

ただ、OKICAを県外で使えるようにするには、数億円規模のコストや維持費がまた発生してしまうため、2023年4月現在、OKICAは沖縄だけの利用、Suicaはゆいレールの改札機だけで使うことができる。沖縄での購入はできない。コストは最低限だ。しかしながら、OKICAが県外で使えないことのメリットも存在している。

OKICAが使える主なサービス一覧

- 1 沖縄都市モノレール「ゆいレール」
- 2 琉球バス、沖縄バス、那覇バス、東陽バス
- 3 南城市コミュニティバス「Nバス」
- 4 「OKICA使えます」ステッカーのあるタクシーや店舗

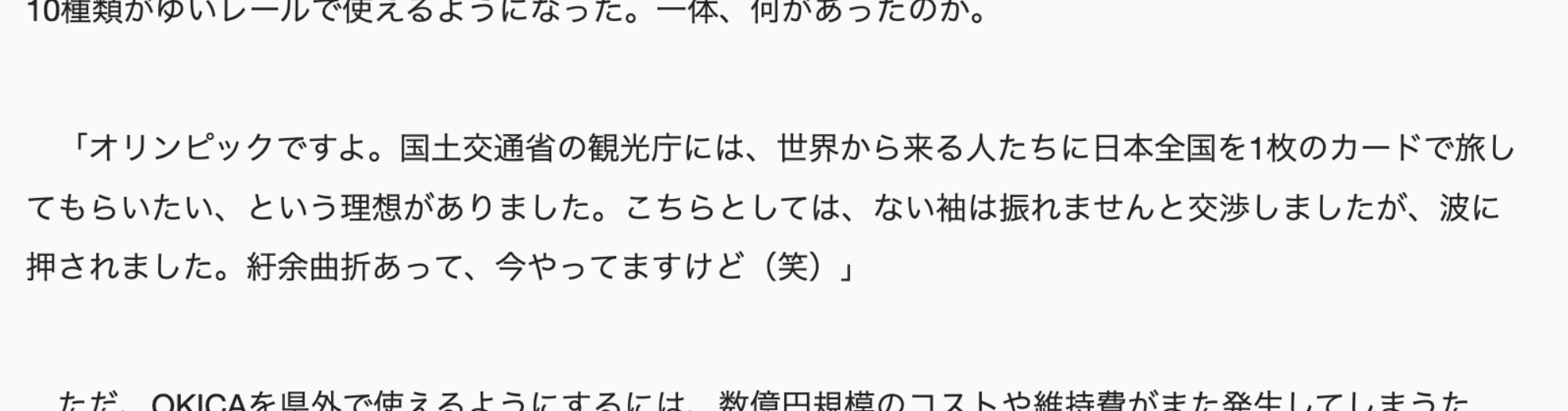
OKICAが使える主なサービス一覧

子どもの貧困対策に

沖縄は子どもの貧困が長年、課題となっている。

2016年、沖縄県が高校生に困窮状態を調査すると、バス代などが家計に重くのしかかっている現状が明らかになった。

OKICAの導入に伴って回数券が廃止されており、高校生からは「天気の良い日だけバスで通学し、残りの回数券は家族でといった柔軟な使い方ができない」といった利便性の低さや、「バスの定期券を購入するゆとりがない」という切実な訴えも寄せられた。



小回りが利くOKICAの利便性を説明する仲吉良次社長＝2023年4月11日、那覇市久米の沖縄ICカード株式会社

2017年、沖縄都市モノレール社は、就学援助などを受ける高校生の運賃を半額にし、2020年からは全額無料となった。バスについては、同年、県の事業として住民税所得割非課税世帯の高校生の運賃が無料に。これら通常運賃と別の特別運賃に対応するためのシステムには、OKICAだからこそ素早く対応できたという。

仲吉社長は言う。「いま、1カ月半ほどで全ての生徒さんの対応ができていく状況です。新しいシステムを開発をするなら、サイバネ系だと2～3年かかります。バスの変更やOKICAに対応する設定を適用させるにも、そのくらい長い時間がかかってしまうんです」

目指せ“沖縄経済圏” 立ちはだかるコンビニ決済

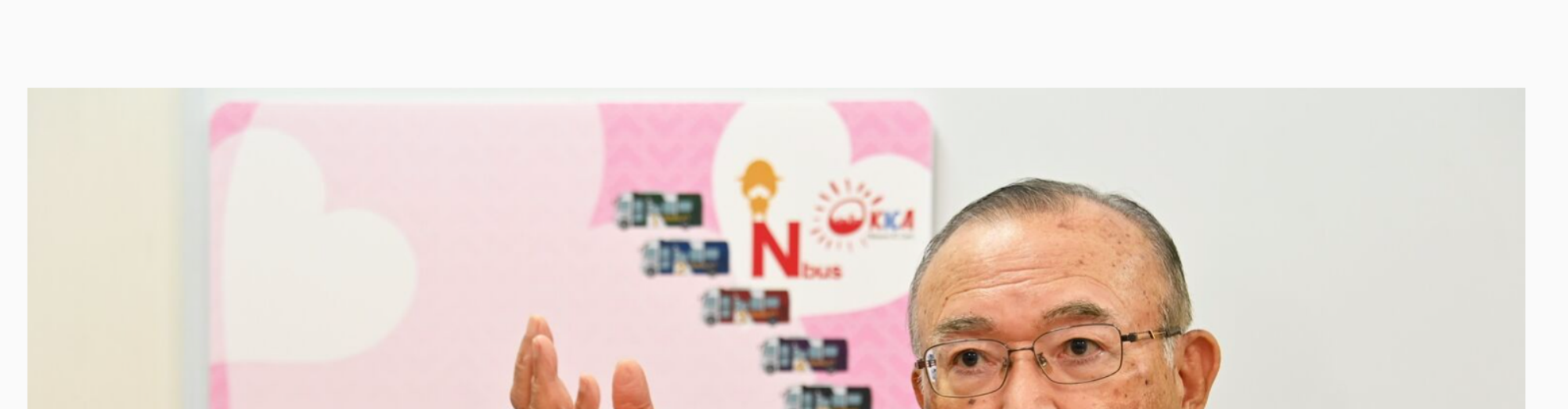
この沖縄独自のICカードの利を生かして見えてきたのが、楽天経済圏ならぬ、“沖縄経済圏”の確立だ。沖縄の日常生活でOKICAを使うことで、ポイントをためたり、運用するサイクルを目指す。

OKICAには、平均で年間55億円を超えるチャージ額が入っており、全額が沖縄の金融機関に取り込まれている。

仲吉社長はこう説明する。「サイバネ系を導入すれば、デポジットやチャージ料が東京に集中し、沖縄の事業者ができるのは乗車賃に限られる。OKICAのような沖縄独自のカードであれば、沖縄で間違いなく資金が回り、県民同士が助け合えるとします」

2021年8月には、県内約100店舗で買い物ができるようになり、タクシーでも利用できるようになった。コンビニでも使えるか？との期待の声もあったが、ここはほとんど拍子とはなかないかかないようだ。コンビニの決済システムは全国統一のため、何億円という費用がかかる。沖縄独自のOKICAが突然、参入していくことは難しい。

Twitterでは「チャージできる場所を増やしてほしい」とのユーザーからの声もある。ゆいレールの販売機やバス車内、営業所などでチャージできるが、チャージ機の新設には1台120万円かかることもあり、沖縄の銀行3行に9台、パレットくもじ、那覇バスターミナル、南城市役所の3カ所に各1台ずつしかない。バスを降りるときにチャージをすると、ほかの乗客を待たせたり、遅延の原因になったりすることもあり、チャージできる場所の拡大ニーズはあるものの、こちらも費用の問題が立ちはだかっている。



（資料写真）沖縄都市モノレール

OKICAのこれから

仲吉良次社長はOKICA導入当時、「OKICAには「沖縄の暮らしが変わる」という思いが込められる」とインタビューで話していた。

10年たった今はどうか。

「その熱い思いは今も変わりませぬ。当然その方向に向かってこの10年、やってきています。今は、アプリの導入も検討しているし、これからは免許返納者が増える時代に入ります。その方たちを支える役割もあると思っています。毎年、毎年、目標を作りながら経済圏の構想も形作ってきました。ぜひ、100万枚を目指したいですね」

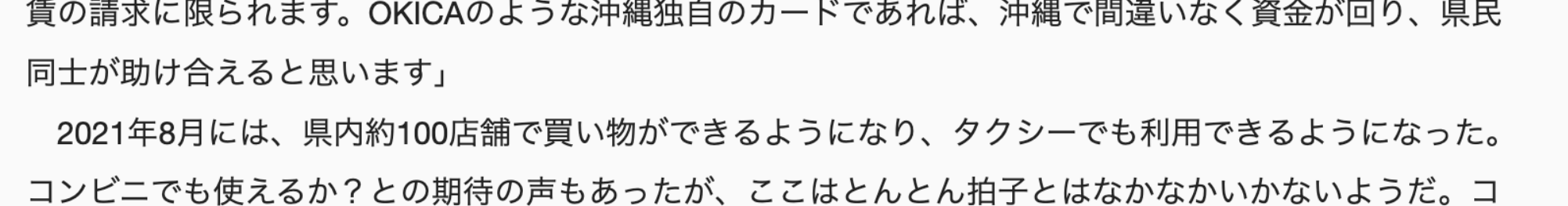
2023年5月9日には、南城市のコミュニティバス「Nバス」が65歳以上と障害者手帳を持つ市民に、OKICAの利用で運賃が無料になることを発表した。南城市をモデル事例に、他の市町村にも普及を図る予定だ。

OKICAが決済をスタートしたゆいレールは、こし2023年8月に20周年を迎え、3編成の車両を導入する。OKICAの発行枚数の増加を牽引してきた入域観光客数もコロナ禍が落ち着き、回復傾向にある。OKICAの“独自”の進化に今後も目が離せない。

OKICAの主な経緯

- 2014年 ゆいレールで決済スタート
- 15年4月27日 路線バスで決済始まる
- 17年5月 就学援助などを受ける高校生のモノレール運賃を半額に
- 20年10月1日 就学援助などを受ける高校生のモノレール運賃を無料に
- 21年8月16日 県内約100店舗・タクシーで決済スタート、店舗チャージが可能に
- 24日 そらとぶピカチュウ版OKICA販売開始
- 10月20日 コミュニティバスで初、南城市「Nバス」で決済開始

OKICAの主な経緯



全ての写真を見る 8枚

「受ける距離を探る」 デビュー作がドラマ化 人気作家・岸田余美さん(31)が語る家族の形、沖縄への思い 年商190億円！通販の「夢グループ」 スター揃いの公演が9500円でもペイできる理由

ウェブオリジナルPlus デジタルでしか読めないウェブオリジナルの単発記事を集めました。沖縄タイムス紙面に掲載された通常記事に、さらに詳しい情報や写真・動画などをプラスしたウェブ情報も含まれます。

OKICA オキカ 沖縄都市モノレール ゆいレール